



禁煙ジャーナル

■発行人 一般社団法人 タバコ問題情報センター [代表理事・渡辺文学]

No. 355

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-1-4 九段セントラルビル 203

TEL: 03-3222-6781 FAX: 03-3222-6780

《郵便振替》00120-0-159803 【印刷】遠藤印刷 1部500円

タバコ問題の懸案事項 日本禁煙学会が3省に申し入れ ～国交・厚生労働省は真摯な対応～

9月27日、日本禁煙学会は3省（財務省、国土交通省、厚生労働省）を訪問し、タバコ問題に関わる懸案事項等の解決を図るよう申し入れを行いました。①具体的な懸案事項と法整備の必要性②当日の訪問者の氏名③対応して下さった各省の担当官など、詳細については本号の記事を参照していただきたいと思えます。なお、この訪問・申し入れは、松沢成文参議院議員及び同秘書・千葉修平氏のお力添えによるところが大きく、また同行して下さったこともあって円滑に実施することができました。両氏に対し厚く御礼申し上げます。（編集長・渡辺文学）

コロナ後久々の要請行動

日本禁煙学会理事 渡辺 文学

■財務省・山口企画調整官に申し入れ

9月27日、松沢成文参議院議員に同行願って、まず財務省を訪ねた。午前10時半から約20分間申し入れを行った。面会したのは、理財局総務課たばこ塩事業室企画調整官・山口理恵氏だった。

「JTIはロシア事業から撤退すべき」と、山口氏に要請したが、鈴木大臣、神田副大臣がたばこ議員連盟に名を連ねており、JTに対して厳しい指導・監督を行うことは全く期待できない。

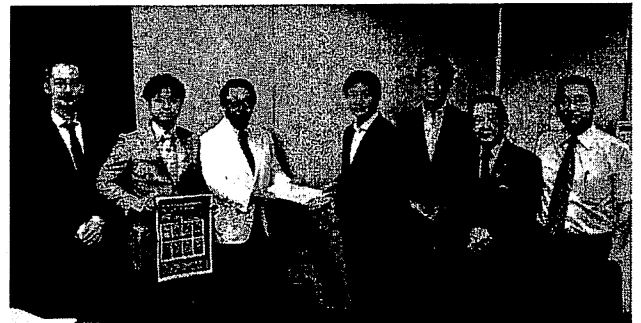
日本禁煙学会から、作田学理事長、宮崎恭一理事、岡本光樹理事と渡辺の4人が参加した。

■国土交通省へは初の申し入れ

この申し入れから、片山律理事が加わって5人となった。面会したのは、住宅局参事官課長補佐・高野学氏と二人の参事官だった。

これまで、「禁煙タクシー」の問題については過去何回も同省に足を運んでいたが「住宅問題」については初めての要請だった。

申し入れの概要は①マンションの標準管理規約コメントの改定を行って頂きたい。②「禁煙マンション」の普及策を進めて頂きたい。③厚生労働省と協議・検討を行って頂きたい、の3点だった。



●タバコ問題では初めての訪問となった国交省で、斉藤鉄夫大臣宛の要望書を高野学課長補佐に手渡す作田学理事長と左から片山律、岡本光樹、松沢成文、渡辺文学、宮崎恭一の各氏（千葉修平氏写す）

■3年ぶりの厚生労働省との話し合い

山本英紀健康課長が対応した。3年前は度々同省を訪ねていたが、久々の要請行動となった。

申し入れの柱は、①国際疾病分類の迅速な翻訳と「受動喫煙症」に関する掲載。②多数の店舗が違法営業しており、喫煙目的施設の定義など、国の技術的支援が必要。③集合住宅の受動喫煙を防ぐため、喫煙について標準管理規約に明記することを国交省に対して要望して欲しい、などを申し入れた。

また「ペット飼育」に関しては、すでに標準管理規約に禁止するか容認するか明記することになっており、喫煙についても適用できるのではないかと、というような要望を伝えた。

—* 1 頁からの続き—

国土交通省への要請文(要旨)

■受動喫煙解決に向けた政策提言

マンション標準管理規約の改定を求めます。

全国で多くの被害やトラブルが出ている集合住宅等における受動喫煙を防ぐために、ペットの飼育の可否をマンション管理規約で定めるべきとしている国交省「マンション標準管理規約(単棟型)コメント」「第18条関係」に準じ、以下の新たなコメントを追記する改定を求めます。

【国交省「マンション標準管理規約(単棟型)コメント」「第18条関係」追記改正案】

⑥喫煙に関しては、それを認める、認めない等の規定は規約で定めるべき事項である。基本的な事項を規約で定め、手続等の細部の規定を使用細則等に委ねることは可能である。なお、喫煙を認める場合には、吸い殻などを放置・投棄しないこと、火災防止のために守るべき事項、バルコニーなど共有部分での喫煙の可否、専有部分における喫煙方法(窓を開けた状態での喫煙の可否、換気扇下の喫煙の可否)、他の占有者に受動喫煙被害を及ぼさないために守るべき事項、受動喫煙に起因する被害等に対する責任、違反者に対する措置等の規定を定める必要がある。⑦喫煙を禁止する場合、容認する場合の規約の例は、次のとおりである

■禁煙マンションの普及策を

公社住宅・公営住宅において、全館禁煙・敷地内禁煙の住宅を増やし(都住宅供給公社の世田谷区経堂の敷地内全面禁煙マンションや豊橋市の市営住宅禁煙化など実例あり)、将来的に全館禁煙・敷地内禁煙とすることを目指して下さい。

米国では2018年7月、全ての公営住宅で喫煙禁止とするなど、海外では多くの事例があります。

また、民間の禁煙マンションには認証・表彰制度を設ける、融資を有利にするなどの経済的なインセンティブを付与するなどの普及策を検討し、進めて下さい。

■受動喫煙防止のための協議を

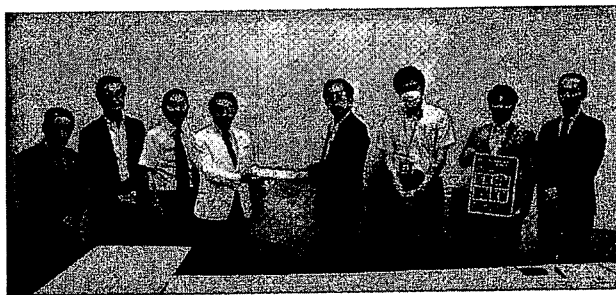
健康増進法との兼ね合いもあり、また、個人住宅やマンションでの受動喫煙をめぐるトラブルや健康被害は今後も増えていくと思われることから、厚生労働省との横断的な検討と対策を早急にお願いたします。

【喫煙を禁止する場合】

※禁煙マンション(喫煙の禁止)第〇条:区分所有者及び占有者は、専有部分、共用部分の如何を問わず、紙巻きタバコ、加熱式タバコその他の煙(蒸気を含む)を発生させるタバコ製品を使用して、喫煙をしてはならない。

【喫煙を容認する場合】

※喫煙容認マンション(喫煙)第〇条:喫煙をする区分所有者及び占有者は、使用細則及び喫煙に関する細則を遵守しなければならない。



●厚労省で山本英紀健康課長に武見敬三大臣宛の要望書を手渡す作田学理事長(千葉修平氏写す)



●国土交通省に申し入れを行う、左から片山律、岡本光樹、作田学、松沢成文の各氏(渡辺写す)

■幹事社1社だった記者会見

厚労省との話し合いの後、14時30分から、厚生省記者クラブで3年ぶりの会見を行ったが、出席記者は、幹事社の西日本新聞ただ1社だった。

これまで何回となく記者会見を行ってきたが、幹事社1社は初めてのケースであり、「タバコ問題」について記者の関心の無さがクローズアップされたと言えよう。



●厚生記者会で会見を行った、左から宮崎恭一、岡本光樹、作田学、片山律の各氏(渡辺写す)

* [厚生記者会=厚生労働省記者クラブ]



—* 2頁からの続き—

【居室のみ喫煙を容認する場合】

※喫煙制限マンション（喫煙）第〇条：区分所有者及び占有者は、共用部分（ベランダ・バルコニーを含む）において、紙巻きタバコ、加熱式タバコその他の煙（蒸気を含む）を発生させるタバコ製品を使用して、喫煙をしてはならない。区分所有者及び占有者は、専有部分において喫煙をするときは、使用細則及び喫煙に関する細則を遵守しなければならない。ただし、他の区分所有者又は占有者からの苦情の申し出があり、改善勧告に従わない場合には、理事会は、専有部分においても喫煙禁止を含む措置をとることができる。

「ペット飼育」に関してはすでに標準管理規約に禁止するか容認するか明記することになっており、喫煙についても準用できると存じます。

②健康増進法の適用外となっている「人の居住の用に供する場所」について、地主や管理者の要望によって適用対象とできるような法改正をお願いします。大阪市で先行されている同趣旨の条例を全国規模で展開できる措置になるはずです。

【注】（1）の根拠としては、下記のように細則モデルにはすでにバルコニー（共用部分）禁煙は記されているので、要望すべきは、騒音や異臭などと同様に「発生の場所の制限」ではなく「その被害を出さないこと」を明記していただきたい。騒音や異臭などは細則モデルにあります。ペット飼育に関してはさらに重要な問題とされたのか別に出されている国交省コメントによって管理規約に記載することとされています。受動喫煙はさらに人間の生命にかかわる問題で多くの被害があることから、ペット飼育と同様に管理規約への記載を国土交通省に対して要望していただきたい。

さらに健康増進法の適用ができれば、法的な裏付けとなるので管理規約以上の効果が期待できると思います。

■近隣住宅受動喫煙被害者の会

設立はすでに数年前にさかのぼりますが、会員が約150人に及びましたので、日本禁煙学会で会の運営を預らせて頂きました。PM2.5やTVOCの正確な測定、状況の把握、改善方法などを探っていく予定です。

＜参考＞：令和2年度厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）受動喫煙防止等のたばこ政策のインパクト・アセスメントに関する研究班）分担研究報告書—たばこ政策導入における法的課題と推進方策の検討 近隣住宅間の受動喫煙問題と解決へ向けた政策提言【研究分担者】岡本光樹（岡本法律事務所・弁護士）

厚生労働省への要請文（要旨）

■ICD11の迅速な翻訳と周知徹底

ICD-11（国際疾病分類第11版、2022年1月発効）への「受動喫煙症」に関する掲載/QD70.5（タバコ煙への曝露によって起こる諸問題）/QD84.Y

（リスク要因に対する他の特定の職業性曝露—職場でのタバコ煙曝露）/KD37（周産期におけるタバコ煙曝露）その他にも従来同様、多数のタバコ関連の疾病や病態が記載されています。6C4A（ニコチン使用による疾患群）/QE13（タバコ使用）。

厚生労働省におかれましては、ICD-11の迅速な翻訳と国内での普及促進をお願いします。

またそのタイミングで「受動喫煙症」の存在についても周知いただけると幸いです。

■喫煙目的店の問題点

最近オンラインメディアに大きく取り上げられました。「規制に抜け穴？全面喫煙可能な居酒屋が存在する訳、飲食店が「喫煙目的施設」として通る不思議」（東洋経済オンライン8/19）：記事に示されるように、明らかに多数の店舗が違法に営業しています。「多くの疑義が生じている喫煙目的施設の定義や要件、疑義照会への回答への迅速な対応、制度開始前から更新されていないQ&Aの整備など、全国統一的に適切な対応ができるよう、国の技術的支援が必要」との疑義が東京都をはじめ、全国から沸き起こっております。

厚生労働省のご見解をお伺いしたい。

■集合住宅の受動喫煙の問題

①相談やトラブルが増えている集合住宅の受動喫煙を防ぐため、受動喫煙の発生を防止し、最近増えている禁煙マンションに対応しても、自室も含めた集合住宅内での喫煙を全面禁止するか容認するかを標準管理規約に明記することを国土交通省に対して、また、同様の細則モデルの改定をマンション管理センターに要望する必要があると考えています。



●新宿駅西口の喫茶店—キャッチフレーズは「おいしい珈琲とタバコのお店」とは！！

禁煙フォーラム岩手2023

—子どもたちの標語がすごい！—

公德会トータルヘルスクリニック院長
川合 厚子

2023年10月15日（日）に盛岡市の“エスポワールいわて”にて「禁煙フォーラム岩手2023」が行われました。主催は盛岡市医師会（吉田耕太郎会長）、今年で15回目となり、継続した取り組みに心から敬意を表します。



イベント内容としては、盛岡市内の幼稚園・保育園・小学生を対象とした「禁煙ポスターコンクール」の全応募作品展示、子どもへのタバコの影響についての講演、加えて寸劇、〇×クイズ、表彰式、質問コーナー、閉会式の後、写真撮影等。

市民参加型の企画が多く盛り込まれ、子どもたちが飽きずに興味をもって参加できるよう随所に工夫がなされていました。

私は小西一樹先生からお声がけいただき、2016年から子どもたちに向けて[タバコが中毒を作ること]、[タバコは毒の塊であること]、[タバコの宣伝に騙されないこと]、[加熱式タバコもタバコ]、などについてお話しています。今年は[受動喫煙]をテーマにお話ししました。

■イエローグリーンキャンペーンをPR

講演内容としては最初に海外のタバコパッケージの警告表示を紹介しました。「僕たちに毒を盛らないで」「タバコの煙は子どもたちに有害」「妊娠中の喫煙は赤ちゃんに危害を加える」など受動喫煙にかかるものをスライドにし、日本との販売方法の違いを伝えました。

その後山形のイエローグリーンキャンペーンの取り組み（イエローグリーンライトアップなど）をスライドショーで示しました。イエローグリーンとは受動喫煙したくない、させたくない気持ちを表す色です。東北の喫煙率は高く、おそらく受動喫煙率も高いことが想定されます。

盛岡でもイエローグリーンキャンペーンが広がることを願ってプレゼンテーションし、参加者にイエローグリーンリボンを贈りました。

■素晴らしいかったポスターと標語

さて「禁煙ポスターコンクール」ですが全応募作品を展示する方式、子どもの作品を見るために親が子どもを連れて来場します。家族皆で参加する方もいます。子どもだけでなく働く親世代にも受動喫煙の影響や禁煙外来等について知ってもらえるので、この方式の効果は大きいです。

表彰式では名前の呼び上げと共にサイドスクリーンに作品と学校学年氏名が表示されます。表彰状と記念品を渡すだけよりも楽しんで「この作品この子が……」と心に響きます。ポスターの応募数は年々増えて、今年は220でした。その内容が素晴らしい。いくつか抜粋してご紹介します。

- ・わが肺は限界である
- ・グツ灰でお金と健康グツと倍
- ・知らぬ間にあなたが周りを肺ジャック
- ・体の中はガン工場
- ・その一服で人生灰に
- ・自慢のじいじ タバコすってなければもっとかっこいいのにざんねんだ
- ・タバコは無限 命は一つ
- ・あなたの肺も灰になる

どうです？実際の作品を見たくありませんか？これらは、盛岡市医師会のホームページから見るができます。どうぞご覧下さい！

【かわい・あつこ＝山形県喫煙問題研究会副会長
／日本禁煙学会理事】

毎月実施の「吸殻拾い」

岩手禁煙推進ネットワーク代表
小西 一樹

吸殻拾いは毎年4月から11月までの毎月です。18年ほど前から活動を開始し、当初は土曜日の朝でしたが、13年前から日曜日に変更しました。13年前に私が盛岡市医師会の禁煙推進委員会の委員長に就任し、盛岡市医師会の会員に呼びかけて、参加人数が増えました。

8年前から岩手禁煙推進ネットワークを立ち上げてから組織的な活動ができるようになり、多いときは参加者が100人を超えるようになりました。

私の病院の職員と盛岡市医師会が幹事的な役割を果たしながら介護施設の職員、医師会の先生方とその職員、歯科医師会、薬剤師会、さらに保健所の職員のみなさん、MRの皆さんなど多くの方々の参加で、徐々に増えてまいりました。

単なるゴミ拾いではなく、9月盛岡市長に受動喫煙防止条例制定を請願、今回禁煙フォーラムを開催するなど、複層的な活動を行っております。

【こにし・かずき＝盛岡つなぎ温泉病院院長】



素晴らしい禁煙CM動画

禁煙CMコンテスト審査委員長 作田 学



今回も多数のご応募をいただきました。最年少は10歳でした。今年の入選作品もYouTubeに公開しております。

この「禁煙CM」を色々な媒体でお使い頂き、学校での教育などに広く役立てて頂ければ幸いです。

加熱式タバコの害が少ないとタバコ会社は宣伝していますが、これは全くのウソです。加熱式タバコには、有害物質や発がん物質が多く含まれているのです。決して手を出さないでください。

燃焼式と加熱式を併用していると、肺疾患になりやすいというデータもあります。

タバコに手を出すと依存症になって一生タバコ代を支払いつづけ、その間に病気になり、半数の人は死亡します。また、喫煙者は新型コロナウイルスで重症化、死亡しやすいことはWHO、日本禁煙学会などの多くが警告しており、すでに常識になっています。

ワクチンの効果も非喫煙者の半分でしかなく、ブレークスルー感染も起こしやすいのです。

さらに、新型コロナウイルスの後遺症も喫煙者は数倍も起こしやすくなります。なんとか、この負の連鎖を止めましょう。

このコンテストは、来年も続けていくことになりましたので、お待ちしております。

【さくた・まなぶ＝日本禁煙学会 理事長】

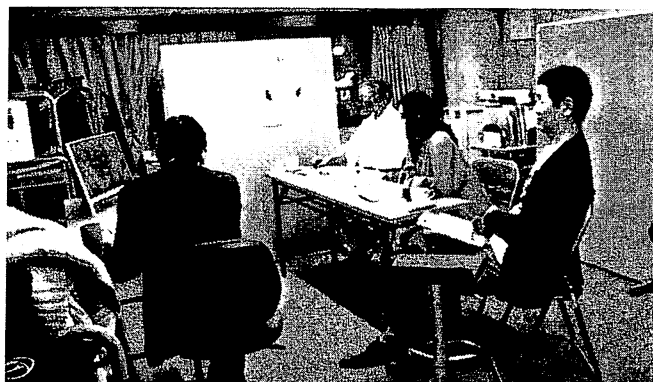
力作揃いの入選作品(上)

禁煙CMコンテスト審査委員 藤本 祥和

今年も沢山の応募がありました。全国から約240本。年齢もバラエティに富んでいました。

1位が1本、2位が7本、3位が8本、合計16本の入賞。なかなか狭き門になりました。見事入賞された皆さん、おめでとうございます！

全体的な映像のレベルも上がっています。アイデアや言葉、最終的なまとまりの点であと一步、惜しい作品もありました。また、ご家族や友人、学校のクラスメイトで仲間を募って取り組んでくださった皆様には心から感謝申し上げます。



●禁煙CMコンテスト審査風景＝右から藤本祥和、平賀典子、作田学、宮崎恭一（背中）の各氏

この取り組み自体が、人々の健康を守り、社会を良くすることにつながるはずですよ。

力作揃いの入賞作をお楽しみください。そして、みんなでタバコで苦しむ人がいない社会を作っていきましょう。

【ふじもと・よしかず＝ラジオディレクター／REBT心理士／キャリアコンサルタント／『笑って禁煙できる本』（白夜書房）著者】

【第1位】 「DomiNo Smoking」 (46秒)

・北海道情報大学

タバコパッケージのドミノ倒しで禁煙を表現。タイトルはDomino (ドミノ) とNo Smoking (ノースモーキング) の掛け言葉になっています。オフィスで、キャンパスで、居酒屋で、タバコのドミノ倒しが続きます。一度喫煙を始めると、やめられなくなってしまふ恐ろしさ。そして最後に倒れるのは…。いいCMは長々と説明しなくても、一言でそのアイデアが言い表せます。今年の優勝作品は「ドミノのCM」ですね。シンプルなアイデアと、それを実現する根気強さ。第1位おめでとうございます！

第2位は7作品が選ばれました(順不同)。

【第2位】 「おぞましい喫煙妖怪ずかん」 (59秒)

・与太ガラス&ドブリンwith
じゅんじゅん&ふゆちゃん

むか〜しむかしの「喫煙妖怪ずかん」。喫煙所を探して徘徊する「いつでもタバコ吸うゾンビ」、笑いながら煙を撒き散らす「妖怪ヤニかけババア」などユニークな妖怪たちの運命は…？ 次の世代にはタバコが「むか〜しむかし」の話になるようにとの願いが込められています。

【注】毎年、藤本氏から素晴らしい「講評」が寄せられており、厚く御礼申し上げます。

以下、2位の6作品と3位の8作品は次号で紹介させていただきますので、ご了解ください。

「香害署名」にご協力を！

香害をなくす連絡会 平賀 典子



「香害」をご存知ですか？柔軟剤、合成洗剤、除菌消臭スプレー、芳香剤など、主に香りのある日用品での健康被害のことを「香害」といいます。

自分は使っていないのに、周囲の人が使用している製品から被害を受け

るため「第二の受動喫煙」ともいわれています。

■テレビ、新聞も取り上げて

7月はNHK「おはよう日本」、8月は「あさいち」で報道され、その後も、朝日新聞、毎日新聞デジタル、読売新聞夕刊、日本経済新聞、朝日放送テレビなど大手メディアでも「香害」が取り上げられ、今、大変注目されている問題です。

とりわけ、香りが強く長く続く「マイクロカプセル」が柔軟剤等に配合されるようになってから被害が拡大しました。目に見えないほど小さいプラスチックカプセルが、キャップ一杯に一億個も配合されており、洗濯で繊維に付着し、摩擦などの刺激でカプセルが弾けると、中身の香料や消臭成分といった化学物質が時間差で放出されることで、作用が長続きする仕組みです。

そのため、香害被害も長続きしてしまうのです。「香り」というと良いイメージで捉えられがちですが、このような製品の成分のほとんどが石油合成の化学物質です。これまで「化学物質過敏症」は、シックハウス症候群や、受動喫煙で発症するケースが多かったのですが、ここ数年は「香害」をきっかけに発症する人が増えています。

日常生活の中に化学物質があまりにも溢れてしまっているのです。

■香害は公害だ

数十年前、私は職場の受動喫煙がきっかけで、禁煙推進の市民活動に参加するようになり、職場の禁煙化はかなり進みました。しかし今度は、香害で悩まされるようになってしまいました。

そこで「日本消費者連盟」など、いくつかの市民団体で結成した「香害をなくす連絡会」に参加するようになり、2年前からは、新潟大学の非常勤講師として「平和を考える」という授業の中で、「香害は公害」であることを学生さんに伝えていきます。

このような取り組みは、中央大学でも実施されており、プロジェクト科目「今、そこにある公害」という授業で香害を取り上げるなど「新たな公害問題」という視点が広まってきています。



■なかなか進まない対策

「香害をなくす連絡会」では、毎年、消費者庁など五つの省庁と会合を持ち、意見交換をしていますが、香害製品を製造販売しているのは、テレビCMを大量に流す大企業であるためか、なかなか対策は進みません。

合成洗剤の業界団体である、日本石鹼洗剤工業会は、市民団体とは会おうとせず、門前払いです。

「香害問題」は、日用品からの被害であるため、子どもが苦しむ事例も生じています。

持ち回りで洗う「給食着」に残留した香料臭で体調不良をおこしたり、教室内の香りで、学校に通えない子どもの問題などです。

各地域では、こういった相談が地元の議員にも寄せられるようになり、2022年に「香害をなくす議員の会」が発足しました。現在では112人もの議員が参加しています。

■オンライン署名を開始

この「香害をなくす議員の会」を中心に「香害をなくす連絡会」と、患者会である「カナリア・ネットワーク全国」の三つの団体で、10月から、Change.orgで『<STOP!マイクロカプセル香害>メーカーは「マイクロカプセル香料」などの「長続き」製法をやめてください!』というオンライン署名を開始しました。

本来は、合成洗剤や柔軟剤そのものが環境や人体に良くないのですが、まずはマイクロカプセルだけでもやめてもらいたいという内容です。

12月中旬まで署名を集めて、議員と一緒に業界団体やメーカーに提出したいと考えています。

「香害」もタバコと一緒に、マナーで解決する問題ではなく、製品の問題です。

このオンライン署名は、無料で簡単にできますので、是非ともご協力をお願いします！

署名は下記URLや、QRコードから。
https://www.change.org/Stop_Kougai

【ひらが・のりこ＝
日本禁煙学会評議員】



＜メディア・ウォッチング＞

■10/2『毎日』[憂楽帳]「たばこの吸い殻拾い」(小関俊樹記者)。①記事本文から①京王線芦花公園駅前で、渡辺文学さんがたばこの吸い殻を拾っていた。側溝の周囲に落ちていた1本をトングでつまみ「いつも同じ名柄が落ちている。常習犯だな」とため息をついた。②長年「嫌煙権」運動に取り組み、現在は月刊紙「禁煙ジャーナル」編集長を務めている。吸い殻拾いは日課の散歩中にポイ捨てが多いのを見て、2019年1月に始めた。③毎朝の散歩コースで拾い、本数を記録する。1日平均約60本、これまでの合計は8万6000本を超えた。④WHOは22年、たばこには有害化学物質が含まれ、廃棄される際に環境中に漏れ出していると警鐘を鳴らした。「たばこポイ捨ては環境問題です」と渡辺さん。といった内容②新聞記事の下にあった渡辺編集長のメモには「9月26日、古関記者が早朝7時30分に芦花公園駅に。いつものコースを密着取材して、このコラムとなりました。これで、赤旗、西日本、読売、朝日、東京、そして今回で、6回の報道となりました。産経と日経が残っています」とあった。筆者も鶴首して待つこととしたい(笑) ■10/4『日刊ゲンダイ』「加熱式たばこ『glo』BAT日本の価格戦略」「値下げに先立ち、最軽量モデル『グロー・ハイパー・エア』を発売。記事全文が実質“たばこ広告”という悪質記事。「ハームリダクションの推進、健康リスク低減の可能性を秘めた代替品を提供することで、加熱式たばこはその筆頭に挙げられます」などあるように「値下げ」と「健康リスク低減」がセールスポイント ■10/5『日経』「英、紙巻きたばこ禁止法案」「09年以降生まれへの販売 首相が表明」。①たばこが公的医療制度の負担になっている②喫煙者の5人に4人が20歳までに吸い始める。「サイクルを断ち切れれば死亡と病気の最大の原因をなくせる」が法案提出の背景 ■10/5『読売』「愛煙家・芥川逸話でたどる」「墨田で特別

展」。①リード文「墨田区ゆかりの文豪・芥川龍之介。愛煙家としても知られ、たばこを手放さなかったという。そんな芥川のエピソードを紹介する特別展が、同区の『たばこと塩の博物館』で開かれている」②鎮目良文・学芸部長「芥川とたばこのつながりは深い。文化としてのたばこと、彼が見た江戸情緒が残る街のことを知ってほしい」とあるように、JTのCSR作戦に協力する記事。日本禁煙学会は10月10日付で警告文を送付した ■10/5『朝日』[言葉季評]「昭和は遠くなりけり」。昭和時代における社会の寛容さを「五カウントまで反則が許されるプロレスみたいだった昭和」と紹介し、①未成年の飲酒や喫煙…「反則」への意識が緩かった②罪の面がクローズアップされて「反則」の取り締まりは厳しくなっていく③「うっとり煙草吸いたるいにしえの女優の口紅の色が知りたい」という短歌を「モノクロームの画面には、紫煙とともに遙かな時の香りが漂っている」と評価④昔の映画やドラマ…煙草を吸いまくっていきよっとする。会社でも路上でも飛行機の中でさえも⑤「太陽にほえろ！」の刑事ドラマで「撃たれて倒れた後、血まみれの手で煙草を啜る。刑事たちの伝説的な殉職シーンが立ちションと啜る煙草とは、…時代が生んだヒーローたちによる、死の直前の「反則」の輝きだったのか、と昭和を「タバコ」で解説。「時代の流れ」などの表記は、タバコ会社の策略だった事実や「流れ」を変えた私たち同志・先人の存在を無視していると言わざるを得ない ■10/18『東京』「新幹線 喫煙ルーム全廃へ」(写真付き)。記事本文は①東海道、山陽、九州新幹線の喫煙ルーム、2024年春に廃止②近年の健康増進志向の高まりや喫煙率の低下が理由③廃止されると国内すべての新幹線から喫煙ルームが消える④空いたスペースは非常用飲料水の配備に活用、といった内容。『東京』のほか、『朝日』『毎日』『読売』『日経』『産経』『Japan Times』(10/19)も報じた。【氷飽健一郎】

花粉症
糖尿病
冷え症
化学物質過敏症
肥満
認知病

最大原因は「違反食品」

amazon 1位

衛生・公衆衛生学
食品・栄養学
保健食・食事療法
美容・ダイエット/ソフィクソン

脳にも悪い！違反食品

小若順一 国光美佳 定価：1400円(税込)
食品と暮らしの安全基金 A5判・192頁

「これだけ証拠を
示されたら、
食品業界は
改善するしかない」

渡邊昌 (元大手食品会社 食品検査部長)

実測した有名食品の
写真がズラリ
驚愕のミネラル
実測データ！

小若順一 国光美佳
食品と暮らしの安全基金

違反食品

脳にも悪い

健康を害する食品
なぜ有害か？

ミネラル実測データ
ミネラル・微量栄養素が豊富な食事にしたら
発癌リスクが良くなった 化学物質過敏症が改善
成績アップ 高齢者が元気に 減量に成功
[失われた30年]の原因はコレ!

発行 三五館シンシャ http://www.sangokan.com/ 東京千代田区神田小川町2-8 101-0052

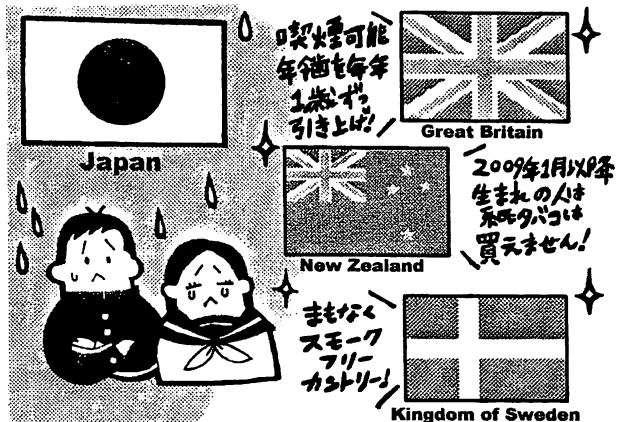
発売 フォレスト出版 東京新宿区揚場町2-18 162-0824

お求めは書店、ネット書店、またはブックサービス ☎0120-29-9625

展望台

◆2023年10月4日イギリス政府は「次世代の若者の喫煙可能年齢を毎年1歳ずつ引き上げ、2040年にほぼすべての若者の喫煙が認められなくなる法案を準備している」と発表した。これは予防可能な死亡と病気の最大の原因をなくし、国民医療制度の負担を軽減する効果が期待できる。反対意見としては「違法販売の増加」とか「吸う自由の侵害」などの意見が出されたが「タバコのない社会」という人類として望ましい健康的社会の実現に比べて、人間に有害なタバコ製品で利益を挙げている、いかにも自己中心的なグループの「非人間的な文言」である。タバコの違法販売には別段の方法で対応すべきで、違法販売があるから、国民の健康に役立つ販売規制に反対するとは不合理な話だ。また自由とは、他人に有害な場合には制限を受けるべきものであることは明らかだ◆ニュージーランドでは、2022年12月に「2009年1月以降に生まれた人は生涯にわたって紙タバコが買えなくなる法律を可決した。「スモークフリーカントリー宣言」が間もないと言われているのがスウェーデンで、日常的に喫煙する人は5.6%で、間もなく5%を切り「禁煙国家」になるのも間近い◆このように、世界では（タバコ事業関連組織の非医学的・非科学的な政治的な反対にあいながらも）少しずつタバコ使用について制限が進んでいるが、日本では、ご存じの「たばこ事業法」がタバコ規制を阻んでいる。すなわち「たばこ事業の健全な発展を図る」ことが法で決められていて、タバコ販売を規制するには「たばこ事業法」の廃止が不可欠に思われる。しかし法を変えるのは国会の仕事で、国会議員は多数決で法律を決める。するとタバコ関連の法律を科学的なものに変えるためには、タバコに理解のある多数の議員

が必要となる。その議員はタバコ問題に理解のある有権者によって選出される。また逆に、議員は地元の有権者がタバコ問題に意識が高いと知るとタバコ問題をより深く勉強するようになる◆このときに重要な役目を果たすのが議員や有権者が手にするタバコ関連の情報である。有権者も、具体的な情報と要望をもってより良い社会の実現を議員に求めることが重要で、さもないと「スピード感をもって」「あらゆる可能性を排除せず」「最大限の努力」などと空念仏を聞かされるだけで何の具体的効果も出てこないことになる。即ち情報の質と量が重要で、社会でそれを担っているのがマスコミである◆ところが、タバコに関してはその重要度の割にはマスコミの流す情報量が少ない。その例が今回のイギリスのタバコ販売の年齢制限のニュースで、報じたのはN新聞のみだった。同日のY新聞（都民版）のタバコ記事では「愛煙家・芥川…」などと「たばここと塩の博物館」の宣伝記事で、喫煙を美化している。タバコ会社のマスコミ懐柔の見事さには呆れた。社会の正しい情報提供役たるべきマスコミにはなお一層の研鑽を期待したい。【中久木一乗】



無煙賛歌

読売が文豪作家をヨイシヨする
 条約違反の博物館展示会で
 オーストラリアのがん協会
 生徒に拡がる電子タバコに悩む
 洗剤・香水・紙タバコ
 において体調崩す人多し
 英首相紙巻きタバコ規制する
 医療制度の負担減らす道
 JR東海・山陽・九州の3社
 「喫煙ルーム」全廃を決めた
 富美里

【雑記帳】 長く続いた「残暑」が過ぎ、朝の「新型モク拾い」も汗をかかずに出来るようになって、ほっとしています。9月30日でちょうど4年8か月となり、拾った吸殻の本数は86,830本となりました。この「モク拾い」を毎日新聞の古関俊樹記者が早朝、芦花公園駅に取材に来て頂き、10月2日の夕刊「憂楽帳」というコラムで紹介して頂きました◆この記事、少し縮小するとちょうどハガキに収まるサイズで、プリントして、禁煙運動関係者、公害問題研究会時代の友人、中学・高校の同期生や先輩・後輩にかなりの枚数を送りました◆事務所の家賃や管理費などは、毎月銀行から振り込んでいますが、先週、2千円を振り込んだ際に、振り込み手数料をみて驚きました。なんと770円！先月までは209円でしたから、4倍近くにもなっていたのです。ここ数か月の諸物価の値上がりもひどいものですが、この振込手数料の金額にはいささか呆れています◆JR新幹線の東海、山陽、九州に設置されていた「喫煙ルーム」がようやく廃止されることとなりました。私たちは、この「喫煙ルーム」を無くして欲

しいと何回も要請していましたが、ようやく実現の運びとなりました。これで、全ての新幹線が全面禁煙となりますが、問題は駅の喫煙所で吸ってすぐ乗ってくる乗客ですね。Third Hand Smoke (三次喫煙)が今後の課題となってきました。(文)

